

傷寒論 條文中 脈證에 관한 研究

金鍾洙 · 朴元煥

東國大學校 韓醫科大學 診斷學教室

【초록】 傷寒論은 理·法·方·藥의 合致에 重點을 두었고, 選錄한 方劑 또한 대부분 實用的이고 有效하므로 높은 臨床的 實用價値가 있을 뿐만 아니라, 後世 臨床醫學의 發展에도 深遠한 影響을 미쳤다.

특히 傷寒論은 脈과 證을 모두 重視하는 原則으로 보다 有機的인 診斷方法을 만들어내어 診斷學의 發展에 있어서도 기여한 바가 크다.

이에 傷寒論의 脈證을 調査한 結果, 첫째 陰脈과 陽脈, 二十七脈, 兩綱脈, 六要脈으로 分類할 수 있으며, 後代의 脈診 分類와도 相應하여, 脈과 證을 辨證의 主要한 根據로 삼아 辨證論治의 原則을 確立하였다. 둘째 全體 398條文中에서 脈證과 關聯지을 수 있는 條文이 38%에 이르며, 脈證이 傷寒 各 段階의 傳變, 病症의 機轉, 病邪의 進退와 用藥의 根據가 됨을 알 수 있다. 셋째 各各의 脈證中에서 浮脈이 가장 많이 나타났으며, 그의 微脈, 緊脈, 沈脈 等の 陰脈의 頻度도 많았다.

중심낱말 : 傷寒論, 脈證, 陰脈, 陽脈, 六要脈, 辨證, 條文, 傳變

I. 緒 論

傷寒論은 3世紀末, 東漢의 張機가 지은 臨床醫學 專門書籍으로써, 그 內容은 주로 六經(太陽, 陽明, 少陽, 太陰, 少陰, 厥陰)辨證을 綱으로 하여, 傷寒 各 段階의 辨脈, 審證, 大法과 立方, 用藥 規律에 대하여 條文形式으로 比較적 全面的 論述을 하였다. 이 밖에 書中에는 平脈法, 辨脈法, 傷寒例, 霍亂, 陰陽易, 差後勞復 等 病的 證治와 汗, 吐, 下, 等 治法의 應用範圍와 禁忌症이 있으며, 比較적 系統的이고 全面的으로 漢代以前의 急性 熱病에 대한 診治의 풍부한 經驗을 總結하여 辨證論治의 基礎를 確立하였다.

本書는 “勤求古訓 博採衆方”에 依하여 理. 法. 方. 藥의 合致에 重點을 두었고, 選錄한 方劑 또한 대부분 實用的이고 有效하므로 높은 臨床的 實用價値가 있을 뿐만 아니라, 後世 臨床醫學의 發展에도 深遠한 影響을 미쳤다.

특히 傷寒論은 脈과 證을 모두 重視하는 原則

으로 보다 有機的인 診斷方法을 만들어내어 診斷學의 發展에 있어서도 기여한 바가 크다. 또한 最初의 脈學 專門書籍인 《脈經》을 쓴 王叔和 역시 《傷寒雜病論》을 整理하여 傷寒論을 통한 辨證論治의 確立에 影響을 받았으니 傷寒論에서 脈證을 통한 辨證은 더욱 중요하다고 할 수 있다.

이에 本 著者는 脈診에 관한 研究의 한 方法으로 傷寒論 條文에 실린 脈證에 關聯된 內容을 整理하고자 한다.

II. 調查 方法

1) 本 調査는 《傷寒論釋講》의 條文中 脈證에 관한 內容을 整理하였다.

2) 傷寒論 條文에 나타나는 脈象別로 分類하였다.

3) 傷寒論 條文中에서 病的 機轉, 病邪의 進退, 傳變 法則의 判斷이나 用藥의 根據가 되는

脈象을 分類하였다.

4) 脈象의 分類에 있어 《濱湖脈學》을 基準으로 하였다.

5) 脈證과 腹證의 對比에 있어 自覺의 腹證은 除外하였고, 他 條文과의 連結로 알 수 있는 脈證 역시 除外하였다.

Ⅲ. 文獻 資料

1. 浮脈

1條) 太陽之爲病, 脈浮, 頭項強痛, 而惡寒.

6-2條) 若發汗已, 身灼熱者, 名曰風溫.

風溫爲病, 脈陰陽俱浮, 自汗出, 身重, 多眠睡, 鼻息必鼾, 言語難出.

若被下者, 小便不利, 直視失溲; 若被火者, 微發黃色, 劇則如驚癇, 時瘳瘳.

若火熏之, 一逆尙引日, 再逆促命期.

12條) 太陽中風, 陽浮而陰弱, 陽浮者, 熱自發:

陰弱者, 汗自出, 奮奮惡寒, 淅淅惡風, 翕翕發熱, 鼻鳴乾嘔者, 桂枝湯主之.

16-2條) 桂枝本爲解肌, 若其人脈浮緊, 發熱汗不出者, 不可與也.

常須識此, 勿令誤也.

29條) 傷寒, 脈浮, 自汗出, 小便數, 心煩, 微惡寒, 脚攣急. 反與桂枝湯欲攻其表, 此誤也.

得之便厥, 咽中乾, 煩躁吐逆者, 作甘草乾薑湯與之, 以復其陽; 若厥愈足溫者, 更作芍藥甘草湯與之, 其脚卽伸; 若胃氣不和, 譫語者, 少與調胃承氣湯; 若重發汗, 復加燒針者, 四逆湯主之.

30條) 問曰: 證象陽但, 按法治之而增劇, 厥逆, 咽中乾, 兩脛拘急而譫語.

師曰: 言夜半手足當溫, 兩脚當伸.

後如師言, 何以知此?

答曰: 寸口脈浮而大, 浮則爲風, 大則爲虛, 風則生微熱, 虛則兩脛攣, 病證象桂枝, 因加附子參其間, 增桂令汗出, 附子溫經, 亡陽故也.

厥逆, 咽中乾, 煩躁, 陽明內結, 譫語煩亂, 更飲甘草乾薑湯.

夜半陽氣還, 兩足當熱, 脛尙微拘急, 重與芍藥甘草湯, 爾乃脛伸.

以承氣湯微瀉, 則止其譫語, 故知病可愈.

37條) 太陽病, 十日以去, 脈浮細而嗜臥者, 外已解也, 設胸滿脇痛者, 與小柴胡湯;

脈但浮者, 與麻黃湯.

38條) 太陽中風, 脈浮緊, 發熱惡寒, 身疼痛, 不汗出而煩躁者, 大青龍湯主之.

若脈微弱, 汗出惡風者, 不可服之.

服之則厥逆, 筋惕肉瞤, 此爲逆也.

39條) 傷寒, 脈浮緩, 身不疼, 但重, 乍有輕時, 無少陰證者, 大青龍湯發之.

42條) 太陽病, 外證未解, 脈浮弱者, 當以汗解, 宜桂枝湯.

45條) 太陽病, 先發汗, 不解, 而復下之, 脈浮者不愈.

浮爲在外, 而反下之, 故令不愈.

今脈浮, 故知在外, 當須解外則愈, 宜桂枝湯主之.

46條) 太陽病, 脈浮緊, 無汗, 發熱, 身疼痛, 八九日不解, 表證仍在, 此當發其汗.

服藥已微除, 其人發煩, 目瞑, 劇者必衄, 衄乃解, 所以然者, 陽氣重故也, 麻黃湯主之.

47條) 太陽病, 脈浮緊, 發熱, 身無汗, 自衄者愈.

49條) 脈浮數者, 法當汗出而愈.

若下之, 身重, 心悸者, 不可發汗, 當自汗出乃解.

所以然者, 尺中脈微, 此裏虛, 須表裏實, 津液自和, 便自汗出愈.

50條) 脈浮緊者, 法當身疼痛, 宜以汗解之.

假令尺中遲者, 不可發汗, 何以知然?

以營氣不足, 血少故也.

51條) 脈浮者, 病在表, 可發汗, 宜麻黃湯.

52條) 脈浮而數者, 可發汗, 宜麻黃湯.

55條) 傷寒, 脈浮緊, 不發汗, 因致衄者, 麻黃湯主之.

57條) 傷寒, 發汗已解, 半日許復煩, 脈浮數者, 可更發汗, 宜桂枝湯主之.

71條) 太陽病, 發汗後, 大汗出, 胃中乾, 煩躁不得眠, 欲得飲水者, 少少與飲之, 令胃氣和則愈.

若脈浮, 小便不利, 微熱消渴者, 與五苓散主之.

72條) 發汗已, 脈浮數, 煩渴者, 五苓散主之.

98條) 得病六七日, 脈遲浮弱, 惡風寒, 手足溫, 醫二三下之, 不能食, 而脇下滿痛, 面目及身黃, 頸項強, 小便難者, 與柴胡湯, 後必下重; 本渴而飲水嘔者, 柴胡湯不中與也, 食穀者噦.

108條) 傷寒腹滿譫語, 寸口脈浮而緊, 此肝乘脾也, 名曰縱, 刺期門.

112條) 傷寒脈浮, 醫以火迫劫之, 亡陽, 必驚狂, 起臥不安者, 桂枝去芍藥加蜀漆牡蠣龍骨救逆湯主之.

113條) 形作傷寒, 其脈不弦緊而弱, 弱者必渴. 被火者, 必譫語, 弱者發熱, 脈浮解之, 當汗出愈.

115條) 脈浮熱甚, 反灸之, 此爲實. 實以虛治, 因火而動, 必咽燥唾血.

116-2條) 脈浮, 宜以汗解, 用火灸之, 邪無從出, 因火而盛, 病從腰以下, 必重而痺, 名火逆也.

116-3條) 欲自解者, 必當先煩, 煩乃有汗而解, 何以知之?

脈浮, 故知汗出解也.

128條) 問曰: 病有結胸, 有藏結, 其狀何如?

答曰: 按之痛, 寸脈浮, 關脈沈, 名曰結胸也.

129條) 何謂藏結?

答曰: 如結胸狀, 飲食如故, 時時下利, 寸脈浮, 關脈小細沈緊, 名曰藏結, 舌上白苔滑者, 難治.

132條) 結胸證, 其脈浮大者, 不可下, 下之則死.

134條) 太陽病, 脈浮而動數, 浮則爲風, 數則爲熱, 動則爲痛, 數則爲虛, 頭痛發熱, 微盜汗出, 而反惡寒者, 表未解也.

醫反下之, 動數變遲, 膈內拒痛, 胃中空虛, 客氣動膈, 短氣躁煩, 心中懊憹, 陽氣內陷, 心下因硬, 則爲結胸, 大陷胸湯主之.

若不結胸, 但頭汗出, 餘處無汗, 劑頸而還, 小便不利, 身必發黃.

138條) 小結胸病, 正在心下, 按之則痛, 脈浮滑者, 小陷胸湯主之.

140條) 太陽病下之, 其脈促, 不結胸者, 此爲欲解也, 脈浮者, 必結胸也; 脈緊者, 必咽痛; 脈弦者, 必兩脇拘急; 脈細數者, 頭痛未止; 脈沈緊者, 必欲嘔; 脈沈滑者, 協熱利; 脈浮滑者, 必下血.

151條) 脈浮而緊, 而復下之, 緊反入裏, 則作痞, 按之自濡, 但氣痞耳.

154條) 心下痞, 按之濡, 其脈關上浮者, 大黃黃連瀉心湯主之.

166條) 病如桂枝湯, 頭不痛, 項不强, 寸脈微浮, 胸中痞硬, 氣上衝咽喉不得息者, 此爲胸有寒也, 當吐之, 宜瓜蒂散.

170條) 傷寒, 脈浮, 發熱無汗, 其表不解者, 不可與白虎湯; 渴欲飲水, 無表證者, 白虎加人參湯主之.

174-1條) 傷寒八九日, 風濕相搏, 身體疼煩, 不能自轉側, 不嘔不渴, 脈浮虛而濡者, 桂枝附子湯主之.

176條) 傷寒, 脈浮滑, 此表有熱, 裏有寒, 白虎湯主之.

187條) 傷寒脈浮而緩, 手足自溫者, 是爲系在太陰.

太陰者, 身當發黃, 若小便自利者, 不能發黃.

至七八日, 大便硬者, 爲陽明病也.

189條) 陽明中風, 口苦咽乾, 腹滿微喘, 發熱惡寒, 脈浮而緊.

若下之, 則腹滿, 小便難也.

201條) 陽明病, 脈浮而緊者, 必潮熱, 發作有時; 但浮者, 必盜汗出.

221條) 陽明病, 脈浮而緊, 咽燥口苦, 腹滿而喘, 發熱汗出, 不惡寒, 反惡熱, 身重.

若發汗則躁, 心憤憤, 反譫語.

若加燒針, 必怵惕, 煩躁不得眠.

若下之, 則胃中空虛, 客氣動膈, 心中懊憹, 舌上胎者, 梔子豉湯主之.

223條) 若脈浮發熱, 渴欲飲水, 小便不利者, 猪苓湯主之.

225條) 脈浮而遲, 表熱裏寒, 下利清穀者, 四逆湯主之.

227條) 脈浮發熱, 口乾鼻燥, 能食者則衄.

231條) 陽明中風, 脈弦浮大而短氣, 腹都滿, 脇下及心痛, 久按之氣不通, 鼻乾, 不得汗, 嗜臥, 一身及目悉黃, 小便難, 有潮熱, 時時噦, 耳前後腫.

刺之小差.

外不解, 病過十日, 脈續浮者, 與小柴胡湯.

232條) 脈但浮, 無餘證者, 與麻黃湯; 若不尿, 腹滿加噦者, 不治.

235條) 陽明病, 脈浮, 無汗而喘者, 發汗則愈, 宜麻黃湯。

240條) 病人煩熱, 汗出則解, 又如瘧狀, 日晡所發熱者, 屬陽明也。

脈實者, 宜下之; 脈浮虛者, 宜發汗。

下之, 與大承氣湯; 發汗, 宜桂枝湯。

244條) 太陽病, 寸緩關浮尺弱, 其人發熱汗出, 復惡寒, 不嘔, 但心下痞者, 此以醫下之也。

如其不下者, 病人不惡寒而渴者, 此轉屬陽明也。

小便數者, 大便必硬, 不更衣十日, 無所苦也。

渴欲飲水, 少少與之, 但以法救之。

渴者, 宜五苓散。

246條) 脈浮而芤, 浮爲陽, 芤爲陰, 浮芤相搏, 胃氣生熱, 其陽則絕。

247條) 趺陽脈, 浮而濇, 浮則胃氣強, 濇則小便數, 浮濇相搏, 大便則難, 其脾爲約, 麻子仁丸主之。

257條) 病人無表裏證, 發熱七八日, 雖脈浮數者, 可下之。

假令已下, 脈數不解, 合熱則消穀善飢, 至六七日, 不大便者, 有瘀血, 宜抵當湯。

268條) 三陽合病, 脈浮大, 上關上, 但欲眠睡, 目合則汗。

276條) 太陰病, 脈浮者, 可發汗, 宜桂枝湯。

278條) 傷寒脈浮而緩, 手足自溫者, 繫在太陰, 太陰當發身黃, 若小便自利者, 不能發黃, 至七八日, 雖暴煩下利日十餘行, 必自止, 以脾家實, 腐穢當去故也。

290條) 少陰中風, 脈弱微陰浮者, 爲欲愈。

327條) 厥陰中風, 脈微浮爲欲愈, 不浮爲未愈。

363條) 下利, 寸脈反浮數, 尺中自濇者, 必清膿血。

394條) 傷寒, 差以後, 更發熱, 小柴胡湯主之; 脈浮者, 以汗解之, 脈沈實者, 以下解之。

2. 沈脈

61條) 下之後, 復發汗, 晝日煩躁不得眠, 夜而安靜, 不嘔, 不渴, 無表證, 脈沈微, 身無大熱者, 乾薑附子湯主之。

62條) 發汗後, 身疼痛, 脈沈遲者, 桂枝加芍藥生薑各一兩人參三兩新加湯主之。

67條) 傷寒, 若吐若下後, 心下逆滿, 氣上衝胸, 起則頭眩, 脈沈緊, 發汗則動經, 身爲振振搖者, 茯苓桂枝白朮甘草湯主之。

92條) 病發熱頭痛, 脈反沈, 若不差, 身體疼痛, 當救其裏, 宜四逆湯。

124條) 太陽病六七日, 表證仍在, 脈微而沈, 反不結胸, 其人發狂者, 以熱在下焦, 少腹當硬滿; 小便自利者, 下血乃愈。所以然者, 以太陽隨經, 瘀熱在裏故也, 抵當湯主之。

125條) 太陽病, 身黃, 脈沈結, 少腹硬, 小便不利者, 爲無血也, 小便自利, 其人如狂者, 血證謬也, 抵當湯主之。

128條) 問曰; 病有結胸, 有藏結, 其狀何如? 答曰; 按之痛, 寸脈浮, 關脈沈, 名曰結胸也。

129條) 何謂藏結? 答曰; 如結胸狀, 飲食如故, 時時下利, 寸脈浮, 關脈小細沈緊, 名曰藏結, 舌上白苔滑者, 難治。

135條) 傷寒六七日, 結胸熱實, 脈沈而緊, 心下痛, 按之石硬者, 大陷胸湯主之。

140條) 太陽病下之, 其脈促, 不結胸者, 此爲欲解也, 脈浮者, 必結胸也; 脈緊者, 必咽痛; 脈弦者, 必兩脇拘急; 脈細數者, 頭痛未止; 脈沈緊者, 必欲嘔; 脈沈滑者, 協熱利; 脈浮滑者, 必下血。

148條) 傷寒五六日, 頭汗出, 微惡寒, 手足冷, 心下滿, 口不欲食, 大便硬, 脈細者, 此爲陽微結, 必有表, 復有裏也。脈沈, 亦在裏也。汗出, 爲陽微。假令純陰結, 不得復有外證, 悉入在裏: 此爲半在裏半在外也。脈雖沈緊, 不得爲少陰病, 所以然者, 陰不得有汗, 今頭汗出, 故知非少陰也。可與小柴胡湯。設不了了者, 得屎而解。

218條) 傷寒四五日, 脈沈而喘滿, 沈爲在裏, 而反發其汗, 津液越出, 大便爲難, 表虛裏實, 久則譫語。

266條) 本太陽病不解, 轉入少陽者, 脇下硬滿, 乾嘔不能食, 往來寒熱, 尙未吐下, 脈沈緊者, 與小柴胡湯。

285條) 少陰病, 脈細沈數, 病爲在裏, 不可發汗。

301條) 少陰病, 始得之, 反發熱, 脈沈者, 麻黃附子細辛湯主之。

305條) 少陰病, 身體痛, 手足寒, 骨節痛, 脈沈者,

附子湯主之.

323條) 少陰病, 脈沈者, 急溫之, 宜四逆湯.

357條) 傷寒六七日, 大下後, 寸脈沈而遲, 手足厥逆, 下部脈不至, 咽喉不利, 唾膿血, 泄利不止者, 爲難治, 麻黃升麻湯主之.

365條) 下利, 脈沈弦者, 下重也; 脈大者, 爲未止; 脈微弱數者, 爲欲自止, 雖發熱, 不死.

366條) 下利, 脈沈而遲, 其人面少赤, 身有微熱, 下利清穀者, 必鬱冒汗出而解, 病人必微厥, 所以然者, 其面戴陽, 下虛故也.

394條) 傷寒, 差以後, 更發熱, 小柴胡湯主之; 脈浮者, 以汗解之, 脈沈實者, 以下解之.

3. 遲脈

50條) 脈浮緊者, 法當身疼痛, 宜以汗解之. 假令尺中遲者, 不可發汗, 何以知然? 以營氣不足, 血少故也.

62條) 發汗後, 身疼痛, 脈沈遲者, 桂枝加芍藥生薑各一兩人參三兩新加湯主之.

98條) 得病六七日, 脈遲浮弱, 惡風寒, 手足溫, 醫二三下之, 不能食, 而脇下滿痛, 面目及身黃, 頸項強, 小便難者, 與柴胡湯, 後必下重; 本渴而飲水嘔者, 柴胡湯不中與也, 食穀者噦.

134條) 太陽病, 脈浮而動數, 浮則爲風, 數則爲熱, 動則爲痛, 數則爲虛, 頭痛發熱, 微盜汗出, 而反惡寒者, 表未解也. 醫反下之, 動數變遲, 膈內拒痛, 胃中空虛, 客氣動膈, 短氣躁煩, 心中懊憹, 陽氣內陷, 心下因硬, 則爲結胸, 大陷胸湯主之. 若不結胸, 但頭汗出, 餘處無汗, 劑頸而還, 小便不利, 身必發黃.

143條) 婦人中風, 發熱惡寒, 經水適來, 得之七八日, 熱除而脈遲身涼, 胸脇下滿如結胸狀, 譫語者, 此爲熱入血室也, 當刺期門, 隨其實而瀉之.

195條) 陽明病, 脈遲, 食難用飽, 飽則微煩頭眩, 必小便難, 此欲作穀瘴. 雖下之, 腹滿如故, 所以然者, 脈遲故也.

208條) 陽明病, 脈遲, 雖汗出不惡寒者, 其身必重, 短氣, 腹滿而喘, 有潮者, 此外欲解, 可攻裏也. 手足濇然汗出者, 此大便已硬也, 大承氣湯主之. 若汗多, 微發熱惡寒者, 外未解也. 其熱不潮, 未可與

承氣湯; 若腹大滿不痛者, 可與小承氣湯, 微和胃氣, 勿令至大泄下.

225條) 脈浮而遲, 表熱裏寒, 下利清穀者, 四逆湯主之.

234條) 陽明病, 脈遲, 汗出多, 微惡寒者, 表未解也, 加發汗, 宜桂枝湯.

324條) 少陰病, 飲食入口則吐, 心中溫溫欲吐, 復不能吐, 始得之, 手足寒, 脈弦遲者, 此胸中實, 不可下也, 當吐之; 若膈上有寒飲, 乾嘔者, 不可吐也, 急溫之, 宜四逆湯.

333條) 傷寒脈遲六七日, 而反與黃芩湯徹其熱, 脈遲爲寒, 今與黃芩湯復除其熱, 腹中應冷, 當不能食, 今反能食, 此名除中, 必死.

357條) 傷寒六七日, 大下後, 寸脈沈而遲, 手足厥逆, 下部脈不至, 咽喉不利, 唾膿血, 泄利不止者, 爲難治, 麻黃升麻湯主之.

366條) 下利, 脈沈而遲, 其人面少赤, 身有微熱, 下利清穀者, 必鬱冒汗出而解, 病人必微厥, 所以然者, 其面戴陽, 下虛故也.

4. 數脈

4條) 傷寒一日, 太陽受之, 脈若靜者, 爲不傳; 頗欲吐, 若躁煩, 脈數急者, 爲傳也.

49條) 脈浮數者, 法當汗出而愈. 若下之, 身重, 心悸者, 不可發汗, 當自汗出乃解. 所以然者, 尺中脈微, 此裏虛, 須表裏實, 津液自和, 便自汗出愈.

52條) 脈浮而數者, 可發汗, 宜麻黃湯.

57條) 傷寒, 發汗已解, 半日許復煩, 脈浮數者, 可更發汗, 宜桂枝湯主之.

72條) 發汗已, 脈浮數, 煩渴者, 五苓散主之.

116-1條) 微數之脈, 慎不可灸. 因火爲邪, 則爲煩逆, 迫虛逐實, 血散脈中, 火氣雖微, 內攻有力, 焦骨傷筋, 血難復也.

120條) 太陽病, 當惡寒發熱, 今自汗出, 反不惡寒發熱, 關上脈細數者, 以醫吐之過也.

一二日吐之者, 腹中飢, 口不能食; 三四日吐之者, 不喜糜粥, 欲食冷食, 朝食暮吐, 以醫吐之所致也, 此爲小逆.

122條) 病因脈數, 數爲熱, 當消穀引食, 而反吐者, 此以發汗, 令陽氣微, 膈氣虛, 脈乃數也.

數爲客熱，不能消穀，以胃中虛冷，故吐也。

134條) 太陽病，脈浮而動數，浮則爲風，數則爲熱，動則爲痛，數則爲虛，頭痛發熱，微盜汗出，而反惡寒者，表未解也。醫反下之，動數變遲，膈內拒痛，胃中空虛，客氣動膈，短氣躁煩，心中懊憹，陽氣內陷，心下因硬，則爲結胸，大陷胸湯主之。若不結胸，但頭汗出，餘處無汗，劑頸而還，小便不利，身必發黃。

140條) 太陽病下之，其脈促，不結胸者，此爲欲解也，脈浮者，必結胸也；脈緊者，必咽痛；脈弦者，必兩脇拘急；脈細數者，頭痛未止；脈沈緊者，必欲嘔；脈沈滑者，協熱利；脈浮滑者，必下血。

256條) 陽明少陽合病，必下利。其脈不負者爲順也。負者，失也，互相剋賊，名爲負也。脈滑而數者，有宿食也，當下之，宜大承氣湯。

257條) 病人無表裏證，發熱七八日，雖脈浮數者，可下之。

假令已下，脈數不解，合熱則消穀善飢，至六七日，不大便者，有瘀血，宜抵當湯。

258條) 若脈數不解，而下不止，必協熱便膿血也。

285條) 少陰病，脈細沈數，病爲在裏，不可發汗。

332條) 傷寒始發熱六日，厥反九日而利。凡厥利者，當不能食。今反能食者，恐爲除中。食以素餅，不發熱者，知胃氣尚在，必愈，恐暴熱來出而復去也。後三日脈之，其熱續在者，期之旦日夜半愈。所以然者，本發熱六日，厥反九日，復發熱三日，并前六日，亦爲九日，與厥相應，故期之旦日夜半愈。後三日脈之而脈數，其熱不罷者，此爲熱氣有餘，必發癰膿也。

361條) 下利脈數，有微熱汗出，今自愈；設復緊，爲未解。

363條) 下利，寸脈反浮數，尺中自濇者，必清膿血。

365條) 下利，脈沈弦者，下重也；脈大者，爲未止；脈微弱數者，爲欲自止，雖發熱，不死。

367條) 下利，脈數而渴者，今自愈。設不差，必清膿血，以有熱故也。

5. 滑脈

138條) 小結胸病，正在心下，按之則痛，脈浮滑者，小陷胸湯主之。

140條) 太陽病下之，其脈促，不結胸者，此爲欲解也，脈浮者，必結胸也；脈緊者，必咽痛；脈弦者，必兩脇拘急；脈細數者，頭痛未止；脈沈緊者，必欲嘔；脈沈滑者，協熱利；脈浮滑者，必下血。

176條) 傷寒，脈浮滑，此表有熱，裏有寒，白虎湯主之。

214條) 陽明病，譫語，發潮熱，脈滑而疾者，小承氣湯主之。因與承氣湯一升，腹中轉氣者，更服一升，若不轉氣者，勿更與之。明日又不大便，脈反微濇者，裏虛也，爲難治，不可更與承氣湯也。

256條) 陽明少陽合病，必下利。其脈不負者爲順也。負者，失也，互相剋賊，名爲負也。脈滑而數者，有宿食也，當下之，宜大承氣湯。

350條) 傷寒，脈滑而厥者，裏有熱也，白虎湯主之。

6. 濇脈(=澁脈)

48條) 二陽并病，太陽初得病時，發其汗，汗先出不徹，因轉屬陽明，續自微汗出，不惡寒。若太陽病證不罷者，不可下，下之爲逆，如此可小發汗。設面色緣緣，正赤者，陽氣怫鬱在表，當解之薰之。若發汗不徹，不足言，陽氣怫鬱不得越，當汗不汗，其人躁煩，不知痛處，乍在腹中，乍在四肢，按之不可得，其人短氣但坐，以汗出不徹故也，更發汗則愈，何以知汗出不徹，以脈濇故知也。

100條) 傷寒，陽脈濇，陰脈弦，法當腹中急痛，先與小建中湯；不差者，與小柴胡湯主之。

174-1條) 傷寒八九日，風濕相搏，身體疼煩，不能自轉側，不嘔不渴，脈浮虛而濇者，桂枝附子湯主之。

212條) 傷寒，若吐若下後，不解，不大便五六日，上至十餘日，日晡所發潮熱，不惡寒，獨語如見鬼狀。若劇者，發則不識人，循衣摸床，惕而不安，微喘直視，脈弦者生，濇者死；微者，但發熱譫語者，大承氣湯主之。若一服利，則止後服。

214條) 陽明病，譫語，發潮熱，脈滑而疾者，小承氣湯主之。因與承氣湯一升，腹中轉氣者，更服一升，若不轉氣者，勿更與之。明日又不大便，脈反微濇者，裏虛也，爲難治，不可更與承氣湯也。

247條) 趺陽脈，浮而濇，浮則胃氣強，濇則小便數，浮濇相搏，大便則難，其脾爲約，麻子仁丸主之。

274條) 太陰中風, 四肢煩疼, 陽微陰澁而長者, 爲欲愈.

286條) 少陰病, 脈微, 不可發汗, 亡陽故也. 陽已虛, 尺脈弱澁者, 復不可下之.

325條) 少陰病, 下利, 脈微澁, 嘔而汗出, 必數更衣, 反少者, 當溫其上, 灸之.

363條) 下利, 寸脈反浮數, 尺中自澁者, 必清膿血.

384-1條) 傷寒, 其脈微澁者, 本是霍亂. 今是傷寒, 却四五日至陰經上, 轉入陰必利, 本嘔下利者, 不可治也.

欲似大便, 而反失氣, 仍不利者, 此屬陽明也, 便必硬, 十三日愈, 所以然者, 經盡故也.

7. 虛脈

174-1條) 傷寒八九日, 風濕相搏, 身體疼煩, 不能自轉側, 不嘔不渴, 脈浮虛而澁者, 桂枝附子湯主之.

240條) 病人煩熱, 汗出則解, 又如瘧狀, 日晡所發熱者, 屬陽明也. 脈實者, 宜下之; 脈浮虛者, 宜發汗.

下之, 與大承氣湯; 發汗, 宜桂枝湯.

347條) 傷寒五六日, 不結胸, 腹濡, 脈虛復厥者, 不可下, 此爲亡血, 下之, 死.

8. 實脈

240條) 病人煩熱, 汗出則解, 又如瘧狀, 日晡所發熱者, 屬陽明也. 脈實者, 宜下之; 脈浮虛者, 宜發汗.

下之, 與大承氣湯; 發汗, 宜桂枝湯. 245-2條) 陽脈實, 因發其汗, 出多者, 亦爲太過.

太過者, 爲陽絕于裏, 亡津液, 大便因硬也.

369條) 傷寒下利, 日十餘行, 脈反實者, 死.

394條) 傷寒, 差以後, 更發熱, 小柴胡湯主之; 脈浮者, 以汗解之, 脈沈實者, 以下解之.

9. 長脈

274條) 太陰中風, 四肢煩疼, 陽微陰澁而長者, 爲欲愈.

10. 短脈

211條) 發汗多, 若重發汗者, 亡其陽, 譫語, 脈短

者死, 脈自和者不死.

11. 洪脈

25條) 服桂枝湯, 大汗出, 脈洪大者, 與桂枝湯, 如前法; 若形似瘧, 日再發者, 汗出必解, 宜桂枝二麻黃一湯.

26條) 服桂枝湯, 大汗出後, 大煩渴不解, 脈洪大者, 白虎加入參湯主之.

12. 微脈

23條) 太陽病, 得之八九日, 如瘧狀, 發熱惡寒, 熱多寒少, 其人不嘔, 清便欲自可, 一日二三度發.

脈微緩者, 爲欲愈也; 脈微而惡寒者, 此陰陽俱虛, 不可更發汗更下更吐也.

面色反有熱色者, 未欲解也, 以其不得小汗出, 身必癢, 宜桂枝麻黃各半湯.

27條) 太陽病, 發熱惡寒, 熱多寒少, 脈微弱者, 此無陽也, 不可發汗, 宜桂枝二越婢一湯.

38條) 太陽中風, 脈浮緊, 發熱惡寒, 身疼痛, 不汗出而煩躁者, 大青龍湯主之. 若脈微弱, 汗出惡風者, 不可服之. 服之則厥逆, 筋惕肉瞤, 此爲逆也.

49條) 脈浮數者, 法當汗出而愈. 若下之, 身重, 心悸者, 不可發汗, 當自汗出乃解. 所以然者, 尺中脈微, 此裏虛, 須表裏實, 津液自和, 便自汗出愈.

60條) 下之後, 復發汗, 必振寒, 脈微細, 所以然者, 以內外俱虛故也.

61條) 下之後, 復發汗, 晝日煩躁不得眠, 夜而安靜, 不嘔, 不渴, 無表證, 脈沈微, 身無大熱者, 乾薑附子湯主之.

94條) 太陽病未解, 脈陰陽俱停, 必先振慄, 汗出而解, 但陽脈微者, 先汗出而解; 但陰脈微者, 下之而解, 若欲下之, 宜調胃承氣湯主之.

105條) 傷寒十三日不解, 過經譫語者, 以有熱也, 當以湯下之. 若小便利者, 大便當硬, 而反下利, 脈調和者, 知醫以丸藥下之, 非其治也, 若自下利者, 脈當微厥; 今反和者, 此爲內實也, 調胃承氣湯主之.

116-1條) 微數之脈, 慎不可灸. 因火爲邪, 則爲煩逆, 追虛逐實, 血散脈中, 火氣雖微, 內攻有力, 焦骨傷筋, 血難復也.

124條) 太陽病六七日, 表證仍在, 脈微而沈, 反不

結胸，其人發狂者，以熱在下焦，少腹當硬滿；小便自利者，下血乃愈。所以然者，以太陽隨經，瘀熱在裏故也，抵當湯主之。

139條) 太陽病二三日，不能臥，但欲起，心下必結，脈微弱者，此本有寒分也。反下之，若利止，必作結胸；未止者，四日復下之，此作協熱利也。

160條) 傷寒吐下後，發汗，虛煩，脈甚微，八九日心下痞硬，脇下痛，氣上衝咽喉，眩冒，經脈動惕者，久而成瘵。

166條) 病如桂枝湯，頭不痛，項不强，寸脈微浮，胸中痞硬，氣上衝咽喉不得息者，此為胸有寒也，當吐之，宜瓜蒂散。

212條) 傷寒，若吐若下後，不解，不大便五六日，上至十餘日，日晡所發潮熱，不惡寒，獨語如見鬼狀。若劇者，發則不識人，循衣摸床，惕而不自安，微喘直視，脈弦者生，濡者死；微者，但發熱譫語者，大承氣湯主之。若一服利，則止後服。

214條) 陽明病，譫語，發潮熱，脈滑而疾者，小承氣湯主之。因與承氣湯一升，腹中轉氣者，更服一升，若不轉氣者，勿更與之。明日又不大便，脈反微澹者，裏虛也，為難治，不可更與承氣湯也。

245-1條) 脈陽微而汗出少者，為自和也；汗出多者，為太過。

274條) 太陰中風，四肢煩疼，陽微陰澁而長者，為欲愈。

281條) 少陰之為病，脈微細，但欲寐也。

286條) 少陰病，脈微，不可發汗，亡陽故也。陽已虛，尺脈弱澹者，復不可下之。

287條) 少陰病，脈緊，至七八日，自下利，脈暴微，手足反溫，脈緊反去者，為欲解也，雖煩下利，必自愈。

290條) 少陰中風，脈弱微陰浮者，為欲愈。

300條) 少陰病，脈微細，但欲臥，汗出不煩，自欲吐。至五六日，自利，復煩躁，不得臥寐者死。

315條) 少陰病，下利，脈微者，與白通湯。利不止，厥逆無脈，乾嘔煩者，白通加豬膽汁湯主之。服湯，脈暴出者死，微續者生。

317條) 少陰病，下利清穀，裏寒外熱，手足厥逆，脈微欲絕，身反不惡寒，其人面色赤，或腹痛，或乾嘔，或咽痛，或利止，脈不出者，通脈四逆湯主之。

325條) 少陰病，下利，脈微澁，嘔而汗出，必數更衣，反少者，當溫其上，灸之。

327條) 厥陰中風，脈微浮為欲愈，不浮為未愈。

338條) 傷寒脈微而厥，至七八膚冷，其人躁無暫安時者，此為藏厥，非為蚘厥也。蚘厥者，其人當吐蚘。今病者靜，而復時煩者，此為藏寒，蚘上入其膈，故煩，須臾復止，得食而嘔又煩者，蚘聞食臭出，其人常自吐蚘。蚘厥者，烏梅丸主之。又主久利。

343條) 傷寒六七日，脈微，手足厥冷，煩躁，灸厥陰，厥不還者，死。

365條) 下利，脈沈弦者，下重也；脈大者，為未止；脈微弱數者，為欲自止，雖發熱，不死。

384-1條) 傷寒，其脈微澁者，本是霍亂。今是傷寒，却四五日至陰經上，轉入陰必利，本嘔下利者，不可治也。

欲似大便，而反失氣，仍不利者，此屬陽明也，便必硬，十三日愈，所以然者，經盡故也。

385條) 惡寒脈微，而復利，利止，亡血也，四逆加人參湯主之。

389條) 既吐且利，小便復利，而大汗出，下利清穀，內寒外熱，脈微欲絕者，四逆湯主之。

390條) 吐已下斷，汗出而厥，四肢拘急不解，脈微欲絕者，通脈四逆加豬膽湯主之。

13. 緊脈

16-2條) 桂枝本為解肌，若其人脈浮緊，發熱汗不出者，不可與也。常須識此，勿令誤也。

38條) 太陽中風，脈浮緊，發熱惡寒，身疼痛，不汗出而煩躁者，大青龍湯主之。若脈微弱，汗出惡風者，不可服之。服之則厥逆，筋惕肉瞤，此為逆也。

46條) 太陽病，脈浮緊，無汗，發熱，身疼痛，八九日不解，表證仍在，此當發其汗。

服藥已微除，其人發煩，目瞑，劇者必衄，衄乃解，所以然者，陽氣重故也，麻黃湯主之。

47條) 太陽病，脈浮緊，發熱，身無汗，自衄者愈。

50條) 脈浮緊者，法當身疼痛，宜以汗解之。假令尺中遲者，不可發汗，何以知然？以營氣不足，血少故也。

55條) 傷寒，脈浮緊，不發汗，因致衄者，麻黃湯主之。

67條) 傷寒, 若吐若下後, 心下逆滿, 氣上衝胸, 起則頭眩, 脈沈緊, 發汗則動經, 身為振振搖者, 茯苓桂枝白朮甘草湯主之.

86條) 衄家, 不可發汗, 汗出必額上陷脈急緊, 直視不能眴, 不得眠.

108條) 傷寒腹滿譫語, 寸口脈浮而緊, 此肝乘脾也, 名曰縱, 刺期門.

113條) 形作傷寒, 其脈不弦緊而弱, 弱者必渴. 被火者, 必譫語, 弱者發熱, 脈浮解之, 當汗出愈.

129條) 何謂藏結? 答曰: 如結胸狀, 飲食如故, 時時下利, 寸脈浮, 關脈小細沈緊, 名曰藏結, 舌上白苔滑者, 難治.

135條) 傷寒六七日, 結胸熱實, 脈沈而緊, 心下痛, 按之石硬者, 大陷胸湯主之.

140條) 太陽病下之, 其脈促, 不結胸者, 此為欲解也, 脈浮者, 必結胸也; 脈緊者, 必咽痛; 脈弦者, 必兩脇拘急; 脈細數者, 頭痛未止; 脈沈緊者, 必欲嘔; 脈沈滑者, 協熱利; 脈浮滑者, 必下血.

148條) 傷寒五六日, 頭汗出, 微惡寒, 手足冷, 心下滿, 口不欲食, 大便硬, 脈細者, 此為陽微結, 必有表, 復有裏也. 脈沈, 亦在裏也. 汗出, 為陽微. 假令純陰結, 不得復有外證, 悉入在裏: 此為半在裏半在外也. 脈雖沈緊, 不得為少陰病, 所以然者, 陰不得有汗, 今頭汗出, 故知非少陰也. 可與小柴胡湯. 設不了了者, 得屎而解.

151條) 脈浮而緊, 而復下之, 緊反入裏, 則作痞, 按之自濡, 但氣痞耳.

189條) 陽明中風, 口苦咽乾, 腹滿微喘, 發熱惡寒, 脈浮而緊. 若下之, 則腹滿, 小便難也.

192條) 陽明病, 欲食, 小便反不利, 大便自調, 其人骨節疼, 翁翁如有熱狀, 奄然發狂, 濇然汗出而解者, 此水不勝穀氣, 與汗共并, 脈緊則愈.

201條) 陽明病, 脈浮而緊者, 必潮熱, 發作有時; 但浮者, 必盜汗出.

221條) 陽明病, 脈浮而緊, 咽燥口苦, 腹滿而喘, 發熱汗出, 不惡寒, 反惡熱, 身重.

若發汗則躁, 心憤憤, 反譫語. 若加燒針, 必怵惕, 煩躁不得眠. 若下之, 則胃中空虛, 客氣動膈, 心中懊憹, 舌上胎者, 梔子豉湯主之.

266條) 本太陽病不解, 轉入少陽者, 脇下硬滿, 乾

嘔不能食, 往來寒熱, 尚未吐下, 脈沈緊者, 與小柴胡湯.

283條) 病人脈陰陽俱緊, 反汗出者, 亡陽也, 此屬少陰, 法當咽痛而復吐利.

287條) 少陰病, 脈緊, 至七八日, 自下利, 脈暴微, 手足反溫, 脈緊反去者, 為欲解也, 雖煩下利, 必自愈.

355條) 病人手足厥冷, 脈乍緊者, 邪結在胸中, 心下滿而煩, 飢不能食者, 病在胸中, 當須吐之, 宜瓜蒂散.

361條) 下利脈數, 有微熱汗出, 今自愈; 設復緊, 為未解.

14. 緩脈

2條) 太陽病, 發熱, 汗出, 惡風, 脈緩者, 名為中風.

23條) 太陽病, 得之八九日, 如瘧狀, 發熱惡寒, 熱多寒少, 其人不嘔, 清便欲自可, 一日二三度發. 脈微緩者, 為欲愈也; 脈微而惡寒者, 此陰陽俱虛, 不可更發汗更下更吐也. 面色反有熱色者, 未欲解也, 以其不得小汗出, 身必癢, 宜桂枝麻黃各半湯.

39條) 傷寒, 脈浮緩, 身不疼, 但重, 乍有輕時, 無少陰證者, 大青龍湯發之.

178條) 脈按之來緩, 時一止復來者, 名曰結. 又脈來動而中止, 更來小數, 中有還者反動, 名曰結陰也. 脈來動而中止, 不能自還, 因而復動, 名曰代陰也. 得此脈者, 必難治.

187條) 傷寒脈浮而緩, 手足自溫者, 是為系在太陰. 太陰者, 身當發黃, 若小便自利者, 不能發黃. 至七八日, 大便硬者, 為陽明病也.

244條) 太陽病, 寸緩關浮尺弱, 其人發熱汗出, 復惡寒, 不嘔, 但心下痞者, 此以醫下之也. 如其不下者, 病人不惡寒而渴者, 此轉屬陽明也. 小便數者, 大便必硬, 不更衣十日, 無所苦也. 渴欲飲水, 少少與之, 但以法救之. 渴者, 宜五苓散.

278條) 傷寒脈浮而緩, 手足自溫者, 繫在太陰, 太陰當發身黃, 若小便自利者, 不能發黃, 至七八日, 雖暴煩下利日十餘行, 必自止, 以脾家實, 腐穢當去故也.

15. 扎脈

246條) 脈浮而扎, 浮爲陽, 扎爲陰, 浮扎相搏, 胃氣生熱, 其陽則絕。

16. 弦脈

100條) 傷寒, 陽脈溢, 陰脈弦, 法當腹中急痛, 先與小建中湯; 不差者, 與小柴胡湯主之。

113條) 形作傷寒, 其脈不弦緊而弱, 弱者必渴。被火者, 必譫語, 弱者發熱, 脈浮解之, 當汗出愈。

140條) 太陽病下之, 其脈促, 不結胸者, 此爲欲解也, 脈浮者, 必結胸也; 脈緊者, 必咽痛; 脈弦者, 必兩脇拘急; 脈細數者, 頭痛未止; 脈沈緊者, 必欲嘔; 脈沈滑者, 協熱利; 脈浮滑者, 必下血。

142條) 太陽與少陽并病, 頭項強痛, 或眩冒, 時如結胸, 心下痞硬者, 當刺大椎第一間, 肺俞肝俞, 慎不可發汗, 發汗則譫語, 脈弦, 五六日譫語不止, 當刺期門。

212條) 傷寒, 若吐若下後, 不解, 不大便五六日, 上至十餘日, 日晡所發潮熱, 不惡寒, 獨語如見鬼狀。若劇者, 發則不識人, 循衣摸床, 惕而不安, 微喘直視, 脈弦者生, 澇者死; 微者, 但發熱譫語者, 大承氣湯主之。若一服利, 則止後服。

231條) 陽明中風, 脈弦浮大而短氣, 腹都滿, 脇下及心痛, 久按之氣不通, 鼻乾, 不得汗, 嗜臥, 一身及目悉黃, 小便難, 有潮熱, 時時曠, 耳前後腫。刺之小差。外不解, 病過十日, 脈續浮者, 與小柴胡湯。

265條) 傷寒, 脈弦細, 頭痛發熱者, 屬少陽。少陽不可發汗, 發汗則譫語。此屬胃, 胃和則愈, 胃不和, 則煩而悸。

324條) 少陰病, 飲食入口則吐, 心中溫溫欲吐, 復不能吐, 始得之, 手足寒, 脈弦遲者, 此胸中實, 不可下也, 當吐之; 若膈上有寒飲, 乾嘔者, 不可吐也, 急溫之, 宜四逆湯。

365條) 下利, 脈沈弦者, 下重也; 脈大者, 爲未止; 脈微弱數者, 爲欲自止, 雖發熱, 不死。

17. 弱脈

12條) 太陽中風, 陽浮而陰弱, 陽浮者, 熱自發; 陰弱者, 汗自出, 當發惡寒, 漸漸惡風, 翕翕發熱, 鼻

鳴乾嘔者, 桂枝湯主之。

27條) 太陽病, 發熱惡寒, 熱多寒少, 脈微弱者, 此無陽也, 不可發汗, 宜桂枝二越婢一湯。

38條) 太陽中風, 脈浮緊, 發熱惡寒, 身疼痛, 不汗出而煩躁者, 大青龍湯主之。若脈微弱, 汗出惡風者, 不可服之。服之則厥逆, 筋惕肉瞤, 此爲逆也。

49條) 脈浮數者, 法當汗出而愈。若下之, 身重, 心悸者, 不可發汗, 當自汗出乃解。所以然者, 尺中脈微, 此裏虛, 須表裏實, 津液自和, 便自汗出愈。

60條) 下之後, 復發汗, 必振寒, 脈微細, 所以然者, 以內外俱虛故也。

61條) 下之後, 復發汗, 晝日煩躁不得眠, 夜而安靜, 不嘔, 不渴, 無表證, 脈沈微, 身無大熱者, 乾薑附子湯主之。

94條) 太陽病未解, 脈陰陽俱停, 必先振慄, 汗出而解, 但陽脈微者, 先汗出而解; 但陰脈微者, 下之而解, 若欲下之, 宜調胃承氣湯主之。

105條) 傷寒十三日不解, 過經譫語者, 以有熱也, 當以湯下之。若小便利者, 大便當硬, 而反下利, 脈調和者, 知醫以丸藥下之, 非其治也, 若自下利者, 脈當微厥; 今反和者, 此爲內實也, 調胃承氣湯主之。

116-1條) 微數之脈, 慎不可灸。因火爲邪, 則爲煩逆, 迫虛逐實, 血散脈中, 火氣雖微, 內攻有力, 焦骨傷筋, 血難復也。

124條) 太陽病六七日, 表證仍在, 脈微而沈, 反不結胸, 其人發狂者, 以熱在下焦, 少腹當硬滿; 小便自利者, 下血乃愈。所以然者, 以太陽隨經, 瘀熱在裏故也, 抵當湯主之。

139條) 太陽病二三日, 不能臥, 但欲起, 心下必結, 脈微弱者, 此本有寒分也。反下之, 若利止, 必作結胸; 未止者, 四日復下之, 此作協熱利也。

160條) 傷寒吐下後, 發汗, 虛煩, 脈甚微, 八九日心下痞硬, 脇下痛, 氣上衝咽喉, 眩冒, 經脈動惕者, 久而成痿。

166條) 病如桂枝湯, 頭不痛, 項不强, 寸脈微浮, 胸中痞硬, 氣上衝咽喉不得息者, 此爲胸有寒也, 當吐之, 宜瓜蒂散。

212條) 傷寒, 若吐若下後, 不解, 不大便五六日, 上至十餘日, 日晡所發潮熱, 不惡寒, 獨語如見鬼

狀. 若劇者, 發則不識人, 循衣摸床, 惕而不安, 微喘直視, 脈弦者生, 澹者死; 微者, 但發熱譫語者, 大承氣湯主之. 若一服利, 則止後服.

214條) 陽明病, 譫語, 發潮熱, 脈滑而疾者, 小承氣湯主之. 因與承氣湯一升, 腹中轉氣者, 更服一升, 若不轉氣者, 勿更與之. 明日又不大便, 脈反微澹者, 裏虛也, 爲難治, 不可更與承氣湯也.

245-1條) 脈陽微而汗出少者, 爲自和也; 汗出多者, 爲太過.

274條) 太陰中風, 四肢煩疼, 陽微陰澁而長者, 爲欲愈.

281條) 少陰之爲病, 脈微細, 但欲寐也.

286條) 少陰病, 脈微, 不可發汗, 亡陽故也. 陽已虛, 尺脈弱澹者, 復不可下之.

287條) 少陰病, 脈緊, 至七八日, 自下利, 脈暴微, 手足反溫, 脈緊反去者, 爲欲解也, 雖煩下利, 必自愈.

290條) 少陰中風, 脈弱微陰浮者, 爲欲愈.

300條) 少陰病, 脈微細, 但欲臥, 汗出不煩, 自欲吐. 至五六日, 自利, 復煩躁, 不得臥寐者死.

315條) 少陰病, 下利, 脈微者, 與白通湯. 利不止, 厥逆無脈, 乾嘔煩者, 白通加豬膽汁湯主之. 服湯, 脈暴出者死, 微續者生.

317條) 少陰病, 下利清穀, 裏寒外熱, 手足厥逆, 脈微欲絕, 身反不惡寒, 其人面色赤, 或腹痛, 或乾嘔, 或咽痛, 或利止, 脈不出者, 通脈四逆湯主之.

325條) 少陰病, 下利, 脈微澁, 嘔而汗出, 必數更衣, 反少者, 當溫其上, 灸之.

327條) 厥陰中風, 脈微浮爲欲愈, 不浮爲未愈.

338條) 傷寒脈微而厥, 至七八膚冷, 其人躁無暫安時者, 此爲藏厥, 非爲蚘厥也. 蚘厥者, 其人當吐蚘. 今病者靜, 而復時煩者, 此爲藏寒, 蚘上入其膈, 故煩, 須臾復止, 得食而嘔又煩者, 蚘聞食臭出, 其人常自吐蚘. 蚘厥者, 烏梅丸主之. 又主久利.

343條) 傷寒六七日, 脈微, 手足厥冷, 煩躁, 灸厥陰, 厥不還者, 死.

365條) 下利, 脈沈弦者, 下重也; 脈大者, 爲未止; 脈微弱數者, 爲欲自止, 雖發熱, 不死.

384-1條) 傷寒, 其脈微澁者, 本是霍亂. 今是傷寒,

却四五日至陰經上, 轉入陰必利, 本嘔下利者, 不可治也.

欲似大便, 而反失氣, 仍不利者, 此屬陽明也, 便秘硬, 十三日愈, 所以然者, 經盡故也.

385條) 惡寒脈微, 而復利, 利止, 亡血也, 四逆加人參湯主之.

389條) 既吐且利, 小便復利, 而大汗出, 下利清穀, 內寒外熱, 脈微欲絕者, 四逆湯主之.

390條) 吐已下斷, 汗出而厥, 四肢拘急不解, 脈微欲絕者, 通脈四逆加豬膽湯主之.

18. 細脈

37條) 太陽病, 十日以去, 脈浮細而嗜臥者, 外已解也, 設胸滿脇痛者, 與小柴胡湯; 脈但浮者, 與麻黃湯.

60條) 下之後, 復發汗, 必振寒, 脈微細, 所以然者, 以內外俱虛故也.

120條) 太陽病, 當惡寒發熱, 今自汗出, 反不惡寒發熱, 關上脈細數者, 以醫吐之過也. 一二日吐之者, 腹中飢, 口不能食; 三四日吐之者, 不喜糜粥, 欲食冷食, 朝食暮吐, 以醫吐之所致也, 此爲小逆.

129條) 何謂藏結?

答曰; 如結胸狀, 飲食如故, 時時下利, 寸脈浮, 關脈小細沈緊, 名曰藏結, 舌上白苔滑者, 難治.

140條) 太陽病下之, 其脈促, 不結胸者, 此爲欲解也, 脈浮者, 必結胸也; 脈緊者, 必咽痛; 脈弦者, 必兩脇拘急; 脈細數者, 頭痛未止; 脈沈緊者, 必欲嘔; 脈沈滑者, 協熱利; 脈浮滑者, 必下血.

148條) 傷寒五六日, 頭汗出, 微惡寒, 手足冷, 心下滿, 口不欲食, 大便硬, 脈細者, 此爲陽微結, 必有表, 復有裏也. 脈沈, 亦在裏也. 汗出, 爲陽微. 假令純陰結, 不得復有外證, 悉入在裏; 此爲半在裏半在外也.

脈雖沈緊, 不得爲少陰病, 所以然者, 陰不得有汗, 今頭汗出, 故知非少陰也. 可與小柴胡湯. 設不了了者, 得屎而解.

265條) 傷寒, 脈弦細, 頭痛發熱者, 屬少陽. 少陽不可發汗, 發汗則譫語. 此屬胃, 胃和則愈, 胃不和, 則煩而悸.

281條) 少陰之爲病, 脈微細, 但欲寐也.

285條) 少陰病, 脈細沈數, 病爲在裏, 不可發汗.
300條) 少陰病, 脈微細, 但欲臥, 汗出不煩, 自欲吐. 至五六日, 自利, 復煩躁, 不得臥寐者死.
351條) 手足厥寒, 脈細欲絕者, 當歸四逆湯主之.

19. 動脈

134條) 太陽病, 脈浮而動數, 浮則爲風, 數則爲熱, 動則爲痛, 數則爲虛, 頭痛發熱, 微盜汗出, 而反惡寒者, 表未解也. 醫反下之, 動數變遲, 膈內拒痛, 胃中空虛, 客氣動膈, 短氣躁煩, 心中懊懣, 陽氣內陷, 心下因硬, 則爲結胸, 大陷胸湯主之. 若不結胸, 但頭汗出, 餘處無汗, 劑頸而還, 小便不利, 身必發黃.

20. 促, 結, 代脈

21條) 太陽病, 下之後, 脈促胸滿者, 桂枝去芍藥湯主之.
34條) 太陽病, 桂枝證, 醫反下之, 利遂不止, 脈促者, 表未解也; 喘而汗出者, 葛根黃芩黃連湯主之.
140條) 太陽病下之, 其脈促, 不結胸者, 此爲欲解也, 脈浮者, 必結胸也; 脈緊者, 必咽痛; 脈弦者, 必兩脇拘急; 脈細數者, 頭痛未止; 脈沈緊者, 必欲嘔; 脈沈滑者, 協熱利; 脈浮滑者, 必下血.
349條) 傷寒脈促, 手足厥逆, 可灸之.
125條) 太陽病, 身黃, 脈沈結, 少腹硬, 小便不利者, 爲無血也, 小便自利, 其人如狂者, 血證諦也, 抵當湯主之.
177條) 傷寒, 脈結代, 心動悸, 炙甘草湯主之.
178條) 脈按之來緩, 時一止復來者, 名曰結. 又脈來動而中止, 更來小數, 中有還者反動, 名曰結陰也. 脈來動而中止, 不能自還, 因而復動, 名曰代陰也. 得此脈者, 必難治.

21. 그외의 脈象

趺陽脈(247條, 362-2條), 少陰脈(271條), 陰脈(94條, 100條), 陽脈(94條, 100條, 245-2條), 寸口脈(30條, 108條), 寸脈(128條, 129條, 166條, 357條, 363條), 關上脈(120條), 關脈(128條, 129條), 尺脈(286조), 結陰(178條), 代陰(178條), 疾脈(214條), 小脈(129條, 271條), 厥脈(105條, 338條, 347條,

350條), 急脈(4條, 86條), 脈若靜(4條), 脈平(391條), 等の 表現이 있다.

IV. 考 察

1. 陰脈과 陽脈

傷寒論에서의 脈診은 脾胃病을 中心으로 하는 雜病에 대해서는 “趺陽脈”을, 婦人病에 대해서는 “少陰脈”을 爲主로 하며, 全身의인 疾患, 즉 傷寒이나 中風에 대해서는 獨取寸口の 診斷方法을 사용하였고 脈象은 陰과 陽으로 나누었는데, 이에 관한 내용은 《傷寒論·辨脈法》에서 “脈有陰陽者, 何謂也? 答曰: 凡脈大·浮·數·動·滑, 此名陽也; 脈沈·澁·弱·弦·微, 此名陰也”라고 한 것이 있다.

傷寒論 條文中에서의 脈象을 陰脈과 陽脈으로 나누어서 各各의 該當 脈象이 나타내는 主病을 살피고 條文中 病症과의 關聯性을 살폈다.

陽脈中에서 浮脈은 表部에 病邪가 있고, 浮遲는 風邪, 浮數은 熱邪, 浮緊은 寒邪로 인한 것이고, 浮하며 有力한 것은 흔히 風熱邪이고, 浮하며 無力한 것은 血虛에 기인한다. 寸部가 浮한 경우는 風邪로 인해 頭痛, 眩暈이 발생하고, 胸中에 風痰이 모여서 寸部에 浮脈이 나타난다. 關上의 浮脈은 土衰木旺 兼證이고, 尺中에 浮脈이 보이면 大, 小便이 不通한다. 條文中에서 浮脈은 거의 太陽病과 陽明病에서 나타나고, 다른 病證에서는 미미하다.

數脈은 熱邪로 인한 것으로, 君火와 相火로 나누어지며, 實熱은 涼瀉하고 虛熱은 溫補한다. 寸部가 數하면 咽喉口舌에 瘡瘍이 생기며, 吐血, 咳嗽, 肺膿瘍이 생길 수도 있다. 關部에서는 胃火와 肝火이고, 尺部에서는 滋陰降火湯證이다. 條文中에서 數脈은 太陽病과 陽明, 厥陰病에서 나타난다.

動脈은 疼痛과 驚悸를 의미하고, 寸部에서는 汗出하고, 尺部에서는 發熱하거나 或은 泄痢나 拘攣이 되기도 하고 男子의 亡精과 女子의 崩中이 되기도 한다. 條文中에서는 太陽病 條文(134條)에서 유일하다.

滑脈은 元氣가 衰弱하고 痰이 만든 온갖 病과 飮食의 災殃으로, 女人脈이 調均할 때에는 胞胎脈이다. 寸滑은 膈痰으로 嘔吐가 發生하고, 吞酸舌強과 咳嗽도 兼하고, 關滑은 肝脾熱과 宿食이고, 尺滑하면 消渴, 痢疾, 癰淋이다. 條文中에서는 太陽病에서 3條文, 陽明病에서 2條文, 厥陰病에서 1條文이 있다.

陰脈中에서 沈脈은 水氣가 陰經에 蓄積된 病으로 沈數은 寒이요, 沈滑은 痰으로 인한 病이며, 沈하며 有力한 것은 裏虛와 氣滯이며, 沈하며 無力한 것은 積滯와 寒邪이다. 寸部에서는 痰鬱이거나 水氣가 胸膈에 停滯된 것이며, 關部는 腹痛과 便秘나 中氣寒冷이 原因이다. 尺部는 白濁, 遺精과 泄痢이며, 腎虛腰痛과 下腹痛도 나타난다. 條文中에서는 太陽病과 少陰, 厥陰病에서 주로 볼 수 있다.

澁脈은 血小와 傷精으로 인하며, 反胃나 亡陽證, 寒濕으로 營血이 傷하여 血痺가 되고, 經閉가 된다. 寸部에서는 心虛로 心痺引背하고, 關部에서는 胃虛로 脇部脹滿하고, 尺部에서는 精血이 損傷하여 腸結, 溲淋, 尿血이 된다. 條文中에서는 太陽과 陽明病에 주로 나타난다.

弱脈은 陰虛, 陽氣衰하고, 惡寒 發熱이 생기며, 多驚, 多汗, 精神昏迷가 나타난다. 寸部에서는 陽虛고 關部에서는 胃弱과 脾衰이며, 尺部에서는 陰虛이다. 條文中에서는 太陽病과 厥陰病에서 주로 볼 수 있다.

微脈은 氣血의 微弱으로 惡寒, 發熱, 汗出不止하며, 男子의 五勞 六極과 女子의 崩中, 帶下에서 나타난다. 寸微하면 氣促, 心驚하고, 關微하면 脹滿하고, 尺微하면 惡寒과 消瘵이 생긴다. 太陽病, 厥陰病과 霍亂의 條文中에서 나타난다.

脈象의 頻度로 보면 浮脈이 62개 條文으로 가장 많고, 微脈이 33개 條文, 緊脈이 24개 條文이고, 沈脈(21개), 數脈(19개), 弱脈(15개), 遲脈(13개), 澁脈과 細脈(11개), 弦脈(9개), 大脈(8개), 滑脈과 緩脈(7개), 實脈과 促脈(4개), 虛脈과 結脈(3개), 洪大脈(2개), 長脈, 短脈, 芤脈, 動脈, 代脈(1개)의 順序로 나타난다.

2. 脈證이 病證의 定意가 되는 경우

傷寒論에서는 脈과 證을 모두 중요시하는 原則을 세워 各篇의 標題들을 모두 “辨某病脈證并治”로 한 다음 脈과 證을 綜合하여 參照함으로써 보다 有機的인 診斷體系를 만들었다. 이른바 各篇의 提綱(綱領)으로 표현되는 條文에는 거의 脈證이 포함되어 있다.

1條) 太陽之爲病, 脈浮, 頭項強痛, 而惡寒.

2條) 太陽病, 發熱, 汗出, 惡風, 脈緩者, 名爲中風.

3條) 太陽病, 或已發熱, 或未發熱, 必惡寒, 體痛嘔逆, 脈陰陽俱緊者, 名曰傷寒.

6-2條) 若發汗已, 身灼熱者, 名曰風溫. 風溫爲病, 脈陰陽俱浮, 自汗出, 身重, 多眠睡, 鼻息必鼾, 言語難出.

128條) 問曰; 病有結胸, 有藏結, 其狀何如? 答曰; 按之痛, 寸脈浮, 關脈沈, 名曰結胸也.

129條) 何謂藏結? 答曰; 如結胸狀, 飮食如故, 時時下利, 寸脈浮, 關脈小細沈緊, 名曰藏結, 舌上白苔滑者, 難治.

268條) 三陽合病, 脈浮大, 上關上, 但欲眠睡, 目合則汗.

281條) 少陰之爲病, 脈微細, 但欲寐也.

300條) 少陰病, 脈微細, 但欲臥, 汗出不煩, 自欲吐.

384-1條) 傷寒, 其脈微澁者, 本是霍亂.

3. 脈象에 依據하여 病의 機轉, 病邪의 進退와 傳變 法則을 判斷하는 경우

傷寒論의 辨證論治中에서는 具體的인 脈法에 대해 直接的인 敍述은 하고 있지는 않지만, “觀其脈證, 知犯何逆, 隨證治之(16-1條)” 등의 文句中에서 볼 수 있듯 脈證은 病의 機轉이나 病邪의 進退, 豫後, 傳變, 등의 判斷 根據로 확실한 자리를 차지하고 있음을 알 수 있다.

4條) 傷寒一日, 太陽受之, 脈若靜者, 爲不傳; 頗欲吐, 若躁煩, 脈數急者, 爲傳也.

12條) 太陽中風, 陽浮而陰弱, 陽浮者, 熱自發; 陰弱者, 汗自出, 濇濇惡寒, 淅淅惡風, 翕翕發熱, 鼻鳴乾嘔者, 桂枝湯主之.

16-2條) 桂枝本爲解肌，若其人脈浮緊，發熱汗不出者，不可與也。常須識此，勿令誤也。

23條) ……脈微緩者，爲欲愈也；脈微而惡寒者，此陰陽俱虛，不可更發汗更下更吐也。……

27條) 太陽病，發熱惡寒，熱多寒少，脈微弱者，此無陽也，不可發汗，宜桂枝二越婢一湯。

29條) 傷寒，脈浮，自汗出，小便數，心煩，微惡寒，脚攣急。反與桂枝湯欲攻其表，此誤也。……

30條) 問曰：證象陽但，按法治之而增劇，厥逆，咽中乾，兩脛拘急而譫語。師曰：言夜半手足當溫，兩脚當伸。

後如師言，何以知此？答曰：寸口脈浮而大，浮則爲風，大則爲虛，風則生微熱，虛則兩脛攣，病證象桂枝，因加附子參其間，增桂令汗出，附子溫經，亡陽故也。……

34條) 太陽病，桂枝證，醫反下之，利遂不止，脈促者，表未解也；喘而汗出者，葛根黃芩黃連湯主之。

37條) 太陽病，十日以去，脈浮細而嗜臥者，外已解也，設胸滿脇痛者，與小柴胡湯；脈但浮者，與麻黃湯。

38條) 太陽中風，脈浮緊，發熱惡寒，身疼痛，不汗出而煩躁者，大青龍湯主之。若脈微弱，汗出惡風者，不可服之。……

42條) 太陽病，外證未解，脈浮弱者，當以汗解，宜桂枝湯。

45條) 太陽病，先發汗，不解，而復下之，脈浮者不愈。浮爲在外，而反下之，故令不愈。今脈浮，故知在外，當須解外則愈，宜桂枝湯主之。

46條) 太陽病，脈浮緊，無汗，發熱，身疼痛，八九日不解，表證仍在，此當發其汗。……

47條) 太陽病，脈浮緊，發熱，身無汗，自衄者愈。

48條) 二陽并病，太陽初得病時，發其汗，汗先出不徹，因轉屬陽明，續自微汗出，不惡寒。……

若發汗不徹，不足言，陽氣佛鬱不得越，當汗不汗，其人躁煩，不知痛處，乍在腹中，乍在四肢，按之不可得，其人短氣但坐，以汗出不徹故也，更發汗則愈，何以知汗出不徹，以脈溢故知也。

49條) 脈浮數者，法當汗出而愈。若下之，身重，心悸者，不可發汗，當自汗出乃解。所以然者，尺中脈微，此裏虛，須表裏實，津液自和，便自汗出愈。

50條) 脈浮緊者，法當身疼痛，宜以汗解之。假令尺中遲者，不可發汗，何以知然？以營氣不足，血少故也。

51條) 脈浮者，病在表，可發汗，宜麻黃湯。

52條) 脈浮而數者，可發汗，宜麻黃湯。

57條) 傷寒，發汗已解，半日許復煩，脈浮數者，可更發汗，宜桂枝湯主之。

60條) 下之後，復發汗，必振寒，脈微細，所以然者，以內外俱虛故也。

92條) 病發熱頭痛，脈反沈，若不差，身體疼痛，當救其裏，宜四逆湯。

94條) 太陽病未解，脈陰陽俱停，必先振慄，汗出而解，但陽脈微者，先汗出而解；但陰脈微者，下之而解，若欲下之，宜調胃承氣湯主之。

100條) 傷寒，陽脈溢，陰脈弦，法當腹中急痛，先與小建中湯；不差者，與小柴胡湯主之。

105條) 傷寒十三日不解，過經譫語者，以有熱也，當以湯下之。……，脈調和者，知醫以丸藥下之，非其治也，若自下利者，脈當微厥；今反和者，此爲內實也，調胃承氣湯主之。

108條) 傷寒腹滿譫語，寸口脈浮而緊，此肝乘脾也，名曰縱，刺期門。

113條) 形作傷寒，其脈不弦緊而弱，弱者必渴。被火者，必譫語，弱者發熱，脈浮解之，當汗出愈。

116-1條) 微數之脈，慎不可灸。……

116-2條) 脈浮，宜以汗解。……

116-3條) 欲自解者，必當先煩，煩乃有汗而解，何以知之？脈浮，故知汗出解也。

120條) 太陽病，當惡寒發熱，今自汗出，反不惡寒發熱，關上脈細數者，以醫吐之過也。……

122條) 病因脈數，數爲熱，當消穀引食，而反吐者，此以發汗，令陽氣微，膈氣虛，脈乃數也。數爲客熱，不能消穀，以胃中虛冷，故吐也。

124條) 太陽病六七日，表證仍在，脈微而沈，反不結胸，其人發狂者，以熱在下焦，少腹當硬滿；小便自利者，下血乃愈。……

125條) 太陽病，身黃，脈沈結，少腹硬，小便不利者，爲無血也。……

132條) 結胸證，其脈浮大者，不可下，下之則死。

134條) 太陽病，脈浮而動數，浮則爲風，數則爲熱，

動則爲痛，數則爲虛，頭痛發熱，微盜汗出，而反惡寒者，表未解也。醫反下之，動數變遲，… …，心下因硬，則爲結胸，大陷胸湯主之。… …

139條) 太陽病二三日，不能臥，但欲起，心下必結，脈微弱者，此本有寒分也。… …

140條) 太陽病下之，其脈促，不結胸者，此爲欲解也，脈浮者，必結胸也；脈緊者，必咽痛；脈弦者，必兩脇拘急；脈細數者，頭痛未止；脈沈緊者，必欲嘔；脈沈滑者，協熱利；脈浮滑者，必下血。

148條) 傷寒五六日，頭汗出，微惡寒，手足冷，心下滿，口不欲食，大便硬，脈細者，此爲陽微結，必有表，復有裏也。脈沈，亦在裏也。… … 脈雖沈緊，不得爲少陰病，所以然者，陰不得有汗，今頭汗出，故知非少陰也。可與小柴胡湯。… …

166條) 病如桂枝湯，頭不痛，項不强，寸脈微浮，胸中痞硬，氣上衝咽喉不得息者，此爲胸有寒也，當吐之，宜瓜蒂散。

176條) 傷寒，脈浮滑，此表有熱，裏有寒，白虎湯主之。

178條) 脈按之來緩，時一止復來者，名曰結。又脈來動而中止，更來小數，中有還者反動，名曰結陰也。脈來動而中止，不能自還，因而復動，名曰代陰也。得此脈者，必難治。

186條) 傷寒三日，陽明脈大。

187條) 傷寒脈浮而緩，手足自溫者，是爲系在太陰。… …

192條) 陽明病，欲食，小便反不利，大便自調，其人骨節疼，翁翁如有熱狀，奄然發狂，濺然汗出而解者，此水不勝穀氣，與汗共并，脈緊則愈。

195條) 陽明病，脈遲，食難用飽，飽則微煩頭眩，必小便難，此欲作穀瘕。雖下之，腹滿如故，所以然者，脈遲故也。

201條) 陽明病，脈浮而緊者，必潮熱，發作有時；但浮者，必盜汗出。

211條) 發汗多，若重發汗者，亡其陽，譫語，脈短者死，脈自和者不死。

212條) ……若劇者，發則不識人，循衣摸床，惕而不安，微喘直視，脈弦者生，濇者死；微者，但發熱譫語者，大承氣湯主之。… …

214條) 陽明病，譫語，發潮熱，脈滑而疾者，小承

氣湯主之。… …明日又不大便，脈反微濇者，裏虛也，爲難治，不可更與承氣湯也。

218條) 傷寒四五日，脈沈而喘滿，沈爲在裏，而反發其汗，津液越出，大便爲難，表虛裏實，久則譫語。

225條) 脈浮而遲，表熱裏寒，下利清穀者，四逆湯主之。

240條) 病人煩熱，汗出則解，又如瘧狀，日晡所發熱者，屬陽明也。脈實者，宜下之；脈浮虛者，宜發汗。下之，與大承氣湯；發汗，宜桂枝湯。

246條) 脈浮而扎，浮爲陽，扎爲陰，浮扎相搏，胃氣生熱，其陽則絕。

247條) 趺陽脈，浮而濇，浮則胃氣強，濇則小便數，浮濇相搏，大便則難，其脾爲約，麻子仁丸主之。

256條) 陽明少陽合病，必下利。其脈不負者爲順也。負者，失也，互相剋賊，名爲負也。脈滑而數者，有宿食也，當下之，宜大承氣湯。

257條) 病人無表裏證，發熱七八日，雖脈浮數者，可下之。假令已下，脈數不解，合熱則消穀善飢，至六七日，不大便者，有瘀血，宜抵當湯。

265條) 傷寒，脈弦細，頭痛發熱者，屬少陽。… …

271條) 傷寒三日，少陽脈小者，欲已也。

274條) 太陰中風，四肢煩疼，陽微陰濇而長者，爲欲愈。

276條) 太陰病，脈浮者，可發汗，宜桂枝湯。

278條) 傷寒脈浮而緩，手足自溫者，繫在太陰，太陰當發身黃，… …

283條) 病人脈陰陽俱緊，反汗出者，亡陽也，此屬少陰，法當咽痛而復吐利。

285條) 少陰病，脈細沈數，病爲在裏，不可發汗。

286條) 少陰病，脈微，不可發汗，亡陽故也。陽已虛，尺脈弱濇者，復不可下之。

287條) 少陰病，脈緊，至七八日，自下利，脈暴微，手足反溫，脈緊反去者，爲欲解也，雖煩下利，必自愈。

290條) 少陰中風，脈弱微陰浮者，爲欲愈。

292條) 少陰病，吐利，手足不逆冷，反發熱者，不死；脈不至者，灸少陰七壯。

298條) 少陰病，四逆惡寒而身踴，脈不至，不煩而躁者，死。

315條) 少陰病, 下利, 脈微者, 與白通湯. 利不止, 厥逆無脈, 乾嘔煩者, 白通加豬膽汁湯主之. 服湯, 脈暴出者死, 微續者生.

323條) 少陰病, 脈沈者, 急溫之, 宜四逆湯.

324條) 少陰病, … …, 始得之, 手足寒, 脈弦遲者, 此胸中實, 不可下也, … …

327條) 厥陰中風, 脈微浮爲欲愈, 不浮爲未愈.

332條) 傷寒始發熱六日, 厥反九日而利. …… 後三日脈之, 其熱續在者, 期之旦日夜半愈. … …

後三日脈之而脈數, 其熱不罷者, 此爲熱氣有餘, 必發癰膿也.

333條) 傷寒脈遲六七日, 而反與黃芩湯徹其熱, 脈遲爲寒, 今與黃芩湯復除其熱, 腹中應冷, 當不能食, 今反能食, 此名除中, 必死.

347條) 傷寒五六日, 不結胸, 腹滿, 脈虛復厥者, 不可下, 此爲亡血, 下之, 死.

350條) 傷寒, 脈滑而厥者, 裏有熱也, 白虎湯主之.

355條) 病人手足厥冷, 脈乍緊者, 邪結在胸中, 心下滿而煩, 飢不能食者, 病在胸中, 當須吐之, 宜瓜蒂散.

360條) 下利, 有微熱而渴, 脈弱者, 今自愈.

361條) 下利脈數, 有微熱汗出, 今自愈; 設復緊, 爲未解.

362-1條) 下利, 手足厥冷, 無脈者, 灸之, 不溫, 若脈不還, 反微喘者死;

362-2條) 少陰負趺陽者, 爲順也.

363條) 下利, 寸脈反浮數, 尺中自濇者, 必清膿血.

366條) 下利, 脈沈而遲, 其人面少赤, 身有微熱, 下利清穀者, 必鬱冒汗出而解, 病人必微厥, 所以然者, 其面戴陽, 下虛故也.

367條) 下利, 脈數而渴者, 今自愈. 設不差, 必清膿血, 以有熱故也.

368條) 下利後脈絕, 手足厥冷, 晡時脈還, 手足溫者生, 脈不還者死.

369條) 傷寒下利, 日十餘行, 脈反實者, 死.

394條) 傷寒, 差以後, 更發熱, 小柴胡湯主之; 脈浮者, 以汗解之, 脈沈實者, 以下解之.

398條) 病人脈已解, 而日暮微煩, 以病新差, 人強與穀, 脾胃氣尚弱, 不能消穀, 故令微煩, 損穀則愈.

4. 脈象이 用藥의 根據가 되는 경우

21條) 太陽病, 下之後, 脈促胸滿者, 桂枝去芍藥湯主之.

25條) 服桂枝湯, 大汗出, 脈洪大者, 與桂枝湯, … …

26條) 服桂枝湯, 大汗出後, 大煩渴不解, 脈洪大者, 白虎加入參湯主之.

27條) 太陽病, 發熱惡寒, 熱多寒少, 脈微弱者, 此無陽也, 不可發汗, 宜桂枝二越婢一湯.

37條) 太陽病, 十日以去, 脈浮細而嗜臥者, 外已解也, 設胸滿脇痛者, 與小柴胡湯; 脈但浮者, 與麻黃湯.

38條) 太陽中風, 脈浮緊, 發熱惡寒, 身疼痛, 不汗出而煩躁者, 大青龍湯主之. 若脈微弱, 汗出惡風者, 不可服之. … …

39條) 傷寒, 脈浮緩, 身不疼, 但重, 乍有輕時, 無少陰證者, 大青龍湯發之.

42條) 太陽病, 外證未解, 脈浮弱者, 當以汗解, 宜桂枝湯.

45條) 太陽病, 先發汗, 不解, 而復下之, 脈浮者不愈. 浮爲在外, 而反下之, 故令不愈. 今脈浮, 故知在外, 當須解外則愈, 宜桂枝湯主之.

51條) 脈浮者, 病在表, 可發汗, 宜麻黃湯.

52條) 脈浮而數者, 可發汗, 宜麻黃湯.

55條) 傷寒, 脈浮緊, 不發汗, 因致衄者, 麻黃湯主之.

57條) 傷寒, 發汗已解, 半日許復煩, 脈浮數者, 可更發汗, 宜桂枝湯主之.

61條) 下之後, 復發汗, 晝日煩躁不得眠, 夜而安靜, 不嘔, 不渴, 無表證, 脈沈微, 身無人熱者, 乾薑附子湯主之.

62條) 發汗後, 身疼痛, 脈沈遲者, 桂枝加芍藥生薑各一兩人參三兩新加湯主之.

67條) 傷寒, 若吐若下後, 心下逆滿, 氣上衝胸, 起則頭眩, 脈沈緊, 發汗則動經, 身爲振振搖者, 茯苓桂枝白朮甘草湯主之.

71條) 太陽病, 發汗後, … … 若脈浮, 小便不利, 微熱消渴者, 與五苓散主之.

72條) 發汗已, 脈浮數, 煩渴者, 五苓散主之.

92條) 病發熱頭痛, 脈反沈, 若不差, 身體疼痛, 當

救其裏，宜四逆湯。

94條) 太陽病未解，脈陰陽俱停，必先振慄，汗出而解，但陽脈微者，先汗出而解；但陰脈微者，下之而解，若欲下之，宜調胃承氣湯主之。

98條) 得病六七日，脈遲浮弱，惡風寒，手足溫，… …，小便難者，與柴胡湯，後必下重；本渴而飲水嘔者，柴胡湯不中與也，食穀者噦。

100條) 傷寒，陽脈溢，陰脈弦，法當腹中急痛，先與小建中湯；不差者，與小柴胡湯主之。

105條) 傷寒十三日不解，… …，脈調和者，知醫以丸藥下之，非其治也，若自下利者，脈當微厥；今反和者，此爲內實也，調胃承氣湯主之。

112條) 傷寒脈浮，… …，起臥不安者，桂枝去芍藥加蜀漆牡蠣龍骨救逆湯主之。

134條) 太陽病，脈浮而動數，浮則爲風，數則爲熱，動則爲痛，數則爲虛，頭痛發熱，微盜汗出，而反惡寒者，表未解也。醫反下之，動數變遲，… …，則爲結胸，大陷胸湯主之。… …

135條) 傷寒六七日，結胸熱實，脈沈而緊，心下痛，按之石硬者，大陷胸湯主之。

138條) 小結胸病，正在心下，按之則痛，脈浮滑者，小陷胸湯主之。

154條) 心下痞，按之濡，其脈關上浮者，大黃黃連瀉心湯主之。

166條) 病如桂枝湯，頭不痛，項不强，寸脈微浮，胸中痞硬，氣上衝咽喉不得息者，此爲胸有寒也，當吐之，宜瓜蒂散。

170條) 傷寒，脈浮，發熱無汗，其表不解者，不可與白虎湯；渴欲飲水，無表證者，白虎加人參湯主之。

174-1條) 傷寒八九日，風濕相搏，身體疼煩，不能自轉側，不嘔不渴，脈浮虛而澹者，桂枝附子湯主之。

176條) 傷寒，脈浮滑，此表有熱，裏有寒，白虎湯主之。

177條) 傷寒，脈結代，心動悸，炙甘草湯主之。

214條) 陽明病，譫語，發潮熱，脈滑而疾者，小承氣湯主之。… …明日又不大便，脈反微澹者，裏虛也，爲難治，不可更與承氣湯也。

223條) 若脈浮發熱，渴欲飲水，小便不利者，猪苓

湯主之。

225條) 脈浮而遲，表熱裏寒，下利清穀者，四逆湯主之。

231條) 陽明中風，脈弦浮大而短氣，… …外不解，病過十日，脈續浮者，與小柴胡湯。

232條) 脈但浮，無餘證者，與麻黃湯；若不尿，腹滿加噦者，不治。

234條) 陽明病，脈遲，汗出多，微惡寒者，表未解也，加發汗，宜桂枝湯。

235條) 陽明病，脈浮，無汗而喘者，發汗則愈，宜麻黃湯。

240條) 病人煩熱，汗出則解，又如瘧狀，日晡所發熱者，屬陽明也。脈實者，宜下之；脈浮虛者，宜發汗。下之，與大承氣湯；發汗，宜桂枝湯。

247條) 跌陽脈，浮而濇，浮則胃氣強，濇則小便數，浮濇相搏，大便則難，其脾爲約，麻子仁丸主之。

257條) 病人無表裏證，發熱七八日，雖脈浮數者，可下之。假令已下，脈數不解，合熱則消穀善飢，至六七日，不大便者，有瘀血，宜抵當湯。

266條) 本太陽病不解，轉入少陽者，… …，脈沈緊者，與小柴胡湯。

276條) 太陰病，脈浮者，可發汗，宜桂枝湯。

301條) 少陰病，始得之，反發熱，脈沈者，麻黃附子細辛湯主之。

305條) 少陰病，身體痛，手足寒，骨節痛，脈沈者，附子湯主之。

315條) 少陰病，下利，脈微者，與白通湯。利不止，厥逆無脈，乾嘔煩者，白通加猪膽汁湯主之。

服湯，脈暴出者死，微續者生。

317條) 少陰病，下利清穀，裏寒外熱，手足厥逆，脈微欲絕，身反不惡寒，其人面色赤，或腹痛，或乾嘔，或咽痛，或利止，脈不出者，通脈四逆湯主之。

323條) 少陰病，脈沈者，急溫之，宜四逆湯。

350條) 傷寒，脈滑而厥者，裏有熱也，白虎湯主之。

351條) 手足厥寒，脈細欲絕者，當歸四逆湯主之。

355條) 病人手足厥冷，脈乍緊者，邪結在胸中，… …宜瓜蒂散。

385條) 惡寒脈微，而復利，利止，亡血也，四逆加人參湯主之。

389條) 既吐且利，小便復利，而大汗出，下利清穀，

內寒外熱，脈微欲絕者，四逆湯主之。
390條) 吐已下斷，汗出而厥，四肢拘急不解，脈微欲絕者，通脈四逆加豬膽湯主之。

5. 脈證과 腹證

腹證에 관한 條文은 傷寒論에서 전체 條文의 약 25%에 달하고, 腹證은 脈證과 더불어 病邪의 進退나 傳變, 豫後, 用藥의 判斷 基準이 되는 診斷方法이다. 여기서는 脈證과 腹證이 같이 있는 條文을 對象으로 脈證과 腹證의 相關 關係를 알아보려 했다.

1) 胸部

胸部에서의 腹證은 胸中痛, 胸中空, 胸中痞滿, 胸滿, 胸中滿, 胸滿脇痛, 胸脇苦滿, 胸脇滿, 胸脇下滿, 胸中痞硬, 等の 表現이 있으나, 對象 條文中에서는 4條文이 있고, 대부분 太陽病 條文으로 21條에서는 모두 陽虛證을 나타내고, 143條에서는 각기 表證의 解消와 裏實을 나타내며, 166條에서는 脈證은 表證이나 裏證이 아님을 福 증은 邪氣가 胸中에 있음을 나타내고 있다. 그러나 각각의 脈證과 腹證은 病의 機轉이나 病邪의 進退, 等を 나타낼 뿐 相關 關係를 찾기에는 부족했다.

21條) 太陽病, 下之後, 脈促胸滿者, 桂枝去芍藥湯主之.

37條) 太陽病, 十日以去, 脈浮細而嗜臥者, 外已解也, 設胸滿脇痛者, 與小柴胡湯; 脈但浮者, 與麻黃湯.

143條) 婦人中風, … …, 熱除而脈遲身涼, 胸脇下滿如結胸狀, 譫語者, 此爲熱入血室也, … …

166條) 病如桂枝湯, 頭不痛, 項不强, 寸脈微浮, 胸中痞硬, 氣上衝咽喉不得息者, 此爲胸有寒也, 當吐之, 宜瓜蒂散.

2) 腹部

腹部에서 볼 수 있는 腹證은 대부분 腹滿의 형태이며, 太陽, 陽明, 少陰, 厥陰病에 걸쳐 나타나고, 腹滿은 陽明病에서는 實證으로, 太陰病에서는 虛證으로 나타났다. 그러나 이 역시 胸部

에서와 같이 病의 機轉을 설명할 뿐 相關關係를 확인할 수는 없었다.

108條) 傷寒腹滿譫語, 寸口脈浮而緊, 此肝乘脾也, 名曰縱, 刺期門.

189條) 陽明中風, 口苦咽乾, 腹滿微喘, 發熱惡寒, 脈浮而緊. 若下之, 則腹滿, 小便難也.

195條) 陽明病, 脈遲, 食難用飽, 飽則微煩頭眩, 必小便難, 此欲作穀羶. 雖下之, 腹滿如故, 所以然者, 脈遲故也.

208條) 陽明病, 脈遲, 雖汗出不惡寒者, 其身必重, 短氣, 腹滿而喘, 有潮熱者, 此外欲解, 可攻裏也. … …若腹大滿不痛者, 可與小承氣湯, 微和胃氣, 勿令至大泄下.

221條) 陽明病, 脈浮而緊, 咽燥口苦, 腹滿而喘, 發熱汗出, 不惡寒, 反惡熱, 身重.

… … 若下之, 則胃中空虛, 客氣動膈, 心中懊懣, 舌上胎者, 梔子豉湯主之.

231條) 陽明中風, 脈弦浮大而短氣, 腹都滿, 脇下及心痛, ……外不解, 病過十日, 脈續浮者, 與小柴胡湯.

232條) 脈但浮, 無餘證者, 與麻黃湯; 若不尿, 腹滿加噦者, 不治.

100條) 傷寒, 陽脈溢, 陰脈弦, 法當腹中急痛, 先與小建中湯; 不差者, 與小柴胡湯主之.

317條) 少陰病, 下利清穀, 裏寒外熱, 手足厥逆, 脈微欲絕, 身反不惡寒, 其人面色赤, 或腹痛, 或乾嘔, 或咽痛, 或利止, 脈不出者, 通脈四逆湯主之.

347條) 傷寒五六日, 不結胸, 腹濡, 脈虛復厥者, 不可下, 此爲亡血, 下之, 死.

3) 心部

心部에서는 心悸, 心下逆滿, 心下必結, 心下痞硬, 心下滿, 心下痞, 心下硬, 心下滿, 等の 腹證을 나타내지만, 67條, 139條, 148條, 154條, 160條, 244條, 251條, 355條에서 病의 機轉을 나타낼 뿐이었다.

49條) 脈浮數者, 法當汗出而愈. 若下之, 身重, 心悸者, 不可發汗, 當自汗出乃解. 所以然者, 尺中脈微, 此裏虛, 須表裏實, 津液自和, 便自汗出愈.

67條) 傷寒, 若吐若下後, 心下逆滿, 氣上衝胸, 起

則頭眩，脈沈緊，發汗則動經，身為振振搖者，茯苓桂枝白朮甘草湯主之。

139條) 太陽病二三日，不能臥，但欲起，心下必結，脈微弱者，此本有寒分也。… …

142條) 太陽與少陽并病，頭項強痛，或眩暈，時如結胸，心下痞硬者，當刺大椎第一間，肺俞肝俞，慎不可發汗，發汗則譫語，脈弦，五六日譫語不止，當刺期門。

148條) 傷寒五六日，頭汗出，微惡寒，手足冷，心下滿，口不欲食，大便硬，脈細者，此為陽微結，必有表，復有裏也。脈沈，亦在裏也。汗出，為陽微。… … 脈雖沈緊，… …

154條) 心下痞，按之濡，其脈關上浮者，大黃黃連瀉心湯主之。

160條) 傷寒吐下後，發汗，虛煩，脈甚微，八九日心下痞硬，脇下痛，氣上衝咽喉，眩暈，經脈動揚者，久而成痿。

244條) 太陽病，寸緩關浮尺弱，其人發熱汗出，復惡寒，不嘔，但心下痞者，此以醫下之也。… …

251條) 得病二三日，脈弱，無太陽柴胡證，煩躁，心下硬，至四五日，雖能食，以小承氣湯少少與微和之，… …

355條) 病人手足厥冷，脈乍緊者，邪結在胸中，心下滿而煩，飢不能食者，病在胸中，當須吐之，宜瓜蒂散。

4) 脇部

脇部에서는 脇痛，脇下滿痛，胸脇下滿如結胸狀，脇下痛，脇下硬滿，等の 표현을 볼 수 있으나，用藥의 根據，豫後，病邪의 進退를 설명할 時 脈證과의 關聯性을 찾을 수 없었다.

37條) 太陽病，十日以去，脈浮細而嗜臥者，外已解也，設胸滿脇痛者，與小柴胡湯；脈但浮者，與麻黃湯。

98條) 得病六七日，脈遲浮弱，惡風寒，手足溫，醫二三下之，不能食，而脇下滿痛，… …

143條) 婦人中風，發熱惡寒，經水適來，得之七八日，熱除而脈遲身涼，胸脇下滿如結胸狀，… …

160條) 傷寒吐下後，發汗，虛煩，脈甚微，八九日心下痞硬，脇下痛，氣上衝咽喉，眩暈，經脈動揚

者，久而成痿。

231條) 陽明中風，脈弦浮大而短氣，腹都滿，脇下及心痛，久按之氣不通，… … 外不解，病過十日，脈續浮者，與小柴胡湯。

266條) 本太陽病不解，轉入少陽者，脇下硬滿，乾嘔不能食，往來寒熱，尚未吐下，脈沈緊者，與小柴胡湯。

5) 少腹部

少腹部에서는 少腹當硬滿，少腹硬，等の 표현이 있는데，少腹部의 腹證과 脈證과의 關聯性은 더욱 미미해 보인다.

124條) 太陽病六七日，表證仍在，脈微而沈，反不結胸，其人發狂者，以熱在下焦，少腹當硬滿；小便自利者，下血乃愈。… …

125條) 太陽病，身黃，脈沈結，少腹硬，小便不利者，為無血也，小便自利，其人如狂者，血證諦也，抵當湯主之。

V. 結 論

傷寒論의 脈證을 調査한 結果 다음과 같은 知見을 얻었다.

1. 傷寒論의 脈證을 總括하여 보면，陰脈과 陽脈，二十七脈，兩綱脈，六要脈으로 分類할 수 있으며，後代의 脈診 分類와도 相應하는데，이는 傷寒論이 脈과 證을 辨證의 主要한 根據로 삼아 辨證論治의 原則을 確立한 것이 後代 脈學의 定立에 큰 影響을 끼친 것이라 볼 수 있다.

2. 全體 398條文中에서 脈證과 關聯지을 수 있는 條文이 38%에 이르며，各篇의 提綱이나，湯證이 되는 條文에 脈證이 있음으로 볼 때，脈證이 傷寒 各段階의 傳變，病症의 機轉，病邪의 進退와 用藥의 根據가 됨을 알 수 있다.

3. 各各의 脈證中에서 浮脈이 가장 많았으나，그의 微脈，緊脈，沈脈，等の 陰脈의 頻度 또한 많았다.

4. 脈證과 腹證과의 관계에 있어 病邪의 進退나，傳變，豫後 등을 判斷하는 根據로서는 각기

存在하지만, 脈證에 따른 腹證의 規律性은 찾을 수 없었다.

以上과 같이 傷寒論의 脈證에 대한 많은 研究와 後代 脈學과의 相關性을 밝히는 다양한 試圖가 앞으로 더욱 필요하리라 思料된다.

參考文獻

1. 崔達永, 傷寒論釋講, 서울; 大星文化社, 1995
2. 蔡仁植, 傷寒論譯註, 서울; 高文社, 1995
3. 朴晔, 國譯 濱湖脈學 四言舉要 奇經八脈攷附 脈訣攷證, 서울; 大星文化社, 1992
4. 李鳳教, 漢方診斷學, 서울; 成輔社, 1986
5. 漢醫學大辭典編纂委員會, 漢醫學大辭典, 서울; 東洋醫學研究院出版部, 1985

= Abstract =

A study on the pulse symptoms of Shanghanlun

Jong-Soo Kim · Won-Hwan Park

Department of Diagnostics, College of Oriental Medicine, Dongguk University

Shanghanlun principally dealt with the differentiation of 'The six channels'(Taiyang, Yangming, Shaoyang, Tayin, Shaoyin, Jueyin), summing up such rich experiences as diagnoses and remedies about an acute fever before the Han dynasty, and establishing the basis of the differentiation of symptoms and signs based on prescriptions. And making it a principle to think of both pulse and symptoms important, it made a more organic method of diagnoses which compounded a reason, ncle, prescriptions and drugs, and considerably contributed to the development of Diagnostics. Therefore, as a result of classifying the contents concerned with the differentiation of Shanghanlun through the pulse symptoms, which is a way of research about the field of pulse feeling, it provided us with somewhat knowledge.

1. The pulse symptoms corresponds with the latter classification on the pulse symptoms. That is why, it seems, the traditional concept, which regarded the pulse and the symptoms as the basis of the differentiation and established the principle of the differentiation of symptoms and signs based on prescriptions, largely has an effect on the establishment of the latter pulse science.

2. The contents concerned with the pulse symptoms, including general principles and dicotion symptoms of each chapter, mounted up to 38%, and so the pulse symptoms informed that the pulse symptoms was the grounds of transformation and development, mechanism of differentiation of syndromes, advance or retreat of pathologic factors and application of drugs of each course of Shanghanlun.

3. Of pulse syndromes, there appeared Floating pulse most, and in addition there were also the high frequency of Yin pulse like Indistinctive pulse, Tense pulse, Deep pulse, and so on.

4. Any regularity between the pulse syndrome and the abdominal syndrome cannot be found.

Key words : Shanghanlun, the pulse sympton, Yim pulse, Yang pulse Six element pulse, differentiation of syndromes provisions, transformation and development.